

9月定例会

9月定例会を11日から25日までの15日間の会期で開きました。
今議会は、19年度補正予算、条例改正・制定、陳情・請願などを審査し、18年度各会計決算の認定審査を行いました。
採決の結果、陳情2件を継続審査として、議案を全員賛成、一部を多数賛成で可決認定しました。

一般質問は、8議員が行いました。

若草児童学園に指定管理者 緑ヶ丘保育園・美咲野に移転

条例の制定で「若草児童学園条例」は、賛成多数で可決。来年度から学園運営は指定管理者（説明参照）に移行する予定です。

一般会計補正予算関連で、緑ヶ丘保育園の移転にともなう補助金が1億1024万円。同保育園は、現在のミルクロード沿いから美咲野団地内に移転、新築の予定です。

老人福祉分野で九電あと地に小規模多機能型居宅介護・認知症対応型共同生活介護施設の新設に4000万円の補助金。

住宅用太陽光発電システム設置に、30万円を限度として補助することとなりました。

決算18年度各会計決算審査は、3常任委員会で審査を行いました。

「年金制度の改善を求める意見書」と「道路整備の促進及び財源の確保に関する意見書」を、賛成多数で採択しました。（意見書文は8ページ）

同意しました

（敬称略）

教育委員会委員と固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、お二人の方の再任に同意しました。

教育委員会委員

○氏名 河津 洋子（63歳）

住所 大津二八七―八

固定資産評価審査委員会委員

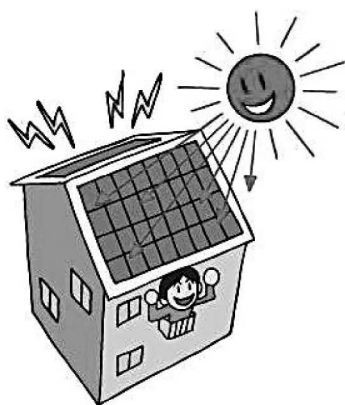
○氏名 西岡 幸吉（79歳）

住所 大津一四二―一

指定管理者制度とは？

地方公共団体（町）の「公の施設」を株式会社をはじめとした民間法人などに管理させる制度。町長は一定の条件をつけて管理希望者を公募し、管理者を指定します。指定にあたっては議会の議決が必要です。

ソーラー発電に補助します
（10月より）

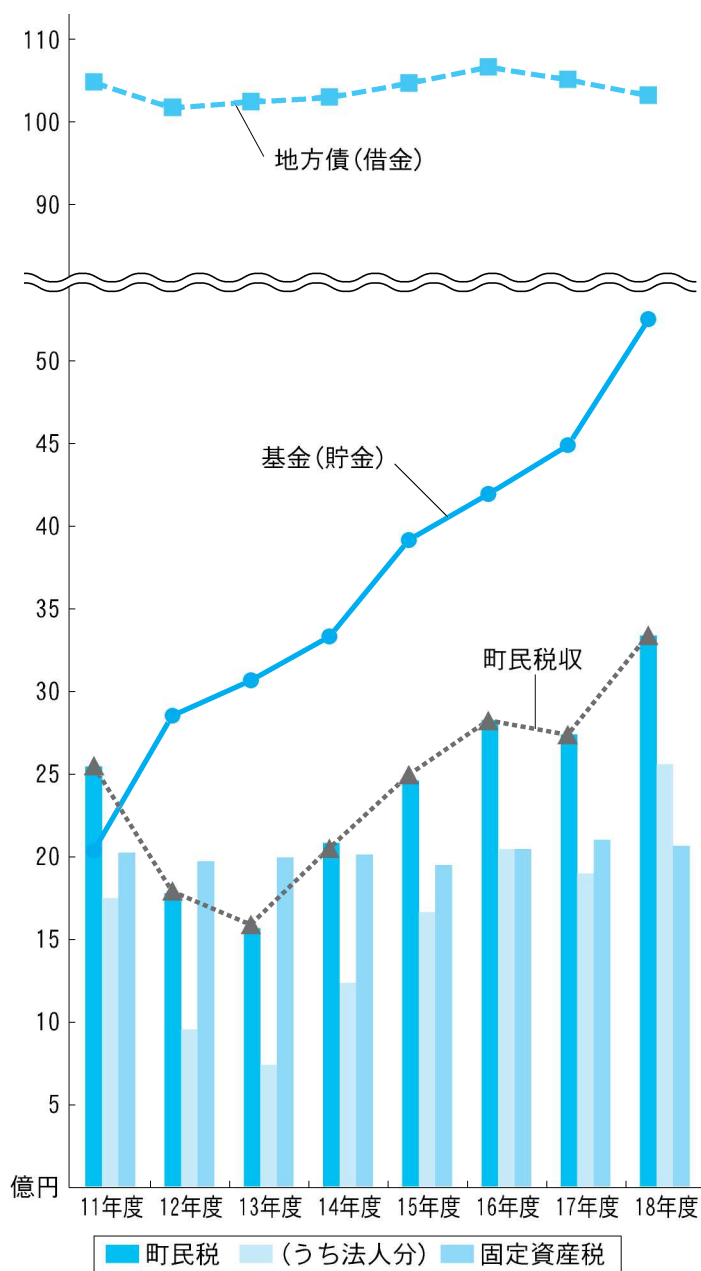


大津町の財政状況（18年度決算）

地方債（借金）102億円・基金（貯金）53億円（単位万円）

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
地方債残高	1,073,989	1,037,482	1,027,140	1,029,211	1,057,638	1,066,734	1,051,961	1,022,725
基金積立金	194,346	274,868	300,771	359,695	380,340	420,135	454,828	534,464

18年度決算



税収56億円（過去最高）
貯金53億円、借入金102億円

18年度各会計決算の認定審査を現地調査も含めて、各常任委員会で審査しました。

18年度一般会計で、町税収入は56億円を超え過去最高となり、2年連続で普通交付税が配分されない不交付団体となりました（県内では大津町だけ）。

歳出では、ハコ物建設の凍結や歳出削減の努力などにより町の貯金にあたる基金残高も53億円になり最高額です。一方、借金にあたる地方債は102億円で3億円弱の減少となっています。

その他、国民健康保険

特別会計など各会計の決算を審査し、全議案を認定することを可決しました。

決算審査の中で、翌年度の予算編成の改善につなげるための指摘事項などの意見が出されました（主なものを5〜7ページに掲載しています）。



総務常任委員会



文教厚生常任委員会



経済建設常任委員会